

# 平成29年度 指定管理者評価シート

所 管 課	こども未来部 こども・若者ステーション
評価対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日

## 平成29年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

施設概要	名 称	川西市久代児童センター
	所 在 地	兵庫県川西市久代3丁目16番30号
	設置目的	児童の健全な育成を図るため、川西市久代児童センターを設置する
利 用 料 金 制	<input checked="" type="radio"/> 非利用料金制 ・ <input type="radio"/> 一部利用料金制 ・ <input type="radio"/> 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定管理業務の内容	<p>※ 指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1)健全な遊びを通じて児童の集団的及び個別指導に関すること。            (2)児童の体力増進の指導に関すること。            (3)子ども会、母親クラブ等の地域組織活動の育成及び助長に関すること。            (4)施設の使用許可、その取り消しその他施設の使用に関すること。            (5)施設及び付属設備の維持管理に関すること。            (6)そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。</p>	
指定期間	平成29年4月1日 ～ 平成34年3月31日	

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども・若者ステーション	評価区分
区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成
①法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	市条例の設置目的である児童の健全な育成を図るため、地域の保育所(園)、幼稚園、小学校、中学校に所長と担当者が訪問し、連携を密にする確認をしています。また、地域の行事“どんとまつり”や川西市主催の“子育てフェスティバル”なども幅広く最大限に有効活用し、施設の事業運営に成果を得ることができました。	A	市の設置目的に沿い、児童の健全な育成に寄与し、また川西南地域や市の行事に積極的に参加しながら施設のPRを行い事業運営に成果が出ている。	意見なし
②利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	初回利用時には、川西市在住であることを確認します。その後、登録手続きとして住所、氏名、生年月日、連絡先電話番号を記入していただきます。他市の人は丁寧に説明し、規則通りお断りしました。当日の利用時毎回氏名と電話番号を記入していただいています。ケガや病気など緊急時は、登録時の電話等にて知らせています。	A	利用に係る登録方法や利用に関し、適切かつ丁寧に対応されている。また、職員間でも周知徹底されており、利用者目線に立ち各所で工夫がみられる。	意見なし
③施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	市の広報誌、施設のホームページ、毎月のお知らせによる広報や館内掲示とともに、積極的に、職員が直接、児童やお母さん方に声掛けをしたことで、行事の参加増に繋げることができました。	B	毎月のお知らせチラシ、広報紙への掲載など積極的に取り組まれ、また個別に直接声かけすることにより参加者の裾野を広げることが出来ているが、施設全体の利用者は減少傾向にある。	意見なし
<課題>		子育て世代を対象にした効果的かつ新たな広報活動の検討が必要です。		新たな広報手段の検討に取り組んでいただきたい。	意見なし
<改善内容>		夏休期間等の長期休暇中や里帰り出産で一定期間川西に在住される方について川西在住のご家族に対するサポートとしてご利用していただきました。		長期休暇の過ごし方は、子育て支援としても課題となっているため、児童館としてもサポートをお願いしたい。	意見なし
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況
①施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	新事業として、3歳児対象のきらくらぶを実施しました。また、世代間交流事業として、「春のミニコンサート」を企画開催しました。川西市主催の「子育てフェスティバル」や地域の「どんとまつり」に参加し、地域交流に努め、幅広く施設の有効利用を展開しました。	A	今年度は幼児対象、三世代事業の開催など新たな事業展開がみられた。地域に根ざした運営に取り組まれ、施設の目的に沿って活用されている。	意見なし
②施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	週1回定期的に行っている就学前1年の子どもを対象とした幼児教室の参加者が増加するとともに、その後継続的に事業に参加いただけており、利用しやすい環境が整えられました。初めての試みとしての川西市吹奏楽団28名による「春のミニコンサート」は、幼児から高齢者まで総勢106名の参加をいただきました。	A	今年度は3歳児にターゲットを絞った行事を実施されるなどし、幼児の利用者の増加に寄与したと考えられる。また、好評だったコンサートは今後の継続を期待いたします。	意見なし
<課題>		利用者数の減少は、単に少子化だけの問題ではなく、児童の放課後の過ごし方の多様多様化(塾・お稽古事)や生活の変化が考えられます。		幼児の行事の内容、参加対象者を工夫することにより、利用者数の増加につながった経験を活かし、18歳未満の取り組みへ広げる	意見なし
<改善内容>		安全面を考慮して日帰りバス旅行を中止し、施設内でできる新しい事業への取り組みを検討しました。		近頃の児童の好みを考慮し、地域のみさんに喜んでもらえるような事業展開を望みます。	意見なし
(1-3) 利用者の満足度	A				(1-3) 利用者の満足度
①利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	中高生向けのプログラムに関しては、保護者の皆様と参加した中高生にその都度アンケートを行っています。	A	中高生対象事業を継続的に開催され、その動向をつかむためにアンケート実施されていることは評価できる。	意見なし
②利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	行事内容を見直し、より参加していただきやすい事業を確保しました。また、個々の育ちを踏まえ、どの子どもさんにも楽しんでいただけるような対応を継続しました。	A	年齢別で開催されるなど、内容をその都度見直した結果、幼児の利用者増につながっている。	意見なし
③利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	苦情に対しては、その都度誠意をもって迅速に対応し、努めて丁寧な説明を心掛けています。法令や利用のルール、平等な利用に関する事業の場合、必要に応じて子育て家庭支援課の判断指示を仰いでいます。	A	迅速かつ丁寧な対応を心掛け、利用者の満足度につながっていると考えられる。	意見なし
④アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	職員から声かけをして、日々の活動時にコミュニケーションをとることで、利用者からの本音の意見を引き出すことができるように努めています。	A	アンケートのみならず、対面でコミュニケーションを図ることにより、利用者の本音の意見が聞け、今後の運営に非常に有効である。	意見なし
⑤サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取り組みの結果、どのような効果を得られたか。	A	事業内容が参加者にとって満足度のいくものであったかを常に意識するために、実施後、事業内容の反省欄を記入した指導案を回覧して、次のサービス向上に活かすよう全員で共有しています。	A	個々の事業運営の中で気づいた点などを回覧し、情報の共有を図ることにより、全職員の意識づけに役立っている。今後のサービス向上に期待します。	意見なし
<課題>		利用者ニーズの把握とともに、課題の掘り起しが必要である。子育て支援を目的とするグループに対する支援も考えていく必要があります。		新たなグループの発掘に取り組む必要がある。	意見なし
<改善内容>		子育て支援グループへの支援の試みとして、平成29年11月NPO法人育ちあいサポートブーケによる『のびのびあそぼう広場』に場所を提供しました。		保護者に寄り添い、センター職員とは違った目線で話ができる場づくりをお願いしたい。	意見なし

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども・若者ステーション	区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)					
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A		A		2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】				
(2-1) 経費の節減	A		A		(2-1) 経費の節減				
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	本年度も、年間を通じて、高額となる水道光熱費については、職員の意識と努力で経費節減が可能であると考え、職員各自が意識して利用者がいない時間、部屋の照明や空調のスイッチを切るよう、周知徹底しました。また、利用者に対しても趣旨を説明したうえで、協力依頼をしています。	A	職員全体で意識し節約につとめられている、また利用者に対しても周知を図っており、経費の削減に十分に取組まれている。					意見なし
② 管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	常に経費節減を意識して、修理や物品購入時は、必ず相見積りを取っています。また、低額な各種備品購入では、近隣のホームセンターなど安価で購入できる業者を利用し「少しでも経費節減を」を意識して購入しています。	A	経費節減を常に念頭に置かれ、努力されている。今後も経費が最小限になるような運営を期待します。					意見なし
< 課 題 >		建物・設備は30年以上経過しており、老朽化・経年劣化が進行し、今後の修繕費の増加が見込まれます。必要に応じて川西市と協議しながら取り組んでまいります。		経年劣化による、修繕費の増加、使い勝手の悪さ					意見なし
< 改善内容 >		夜間警備について、委託料節減を目的に、社協全体で見直しをしました。また、見直しに伴う経費節減額の中から防犯対策上の安全の確保を目的に防犯カメラを設置しました。		公共施設の修繕計画に組み込み、適切な時期に改修。					意見なし
(2-2) 収入の増加	評価なし		評価なし		(2-2) 収入の増加				
① 収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。									
② 収入の増加など取り組みの効果が得られたか。									
< 課 題 >									
< 改善内容 >									
(2-3) 収支のバランスなど	評価なし		評価なし		(2-3) 収支のバランスなど				
① 収支のバランスは、適切であったか。									
② 費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。									
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。									
< 課 題 >									
< 改善内容 >									

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども・若者ステーション	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】			
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		(3-1) 管理運営の実施状況			
①法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	基準の人員は配置されています。利用が多数の場合は、事故防止や安全面を考え、必要に応じて、老人福祉センターの職員との連携を図っています。	A	老人福祉センターと一体的な運用に取り組み、連携を図りながら効率的な管理運営が出来ている。	意見なし			
②法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	参加研修は、「ダメ！と言わない子育て～」「知って納得！今どきの子育て事情」「ノロウイルス予防体感セミナー」「子どもの居場所づくり交流会」に参加しました。参加職員の復命書をもとに、知識情報を共有し、今後の事業に役立ててまいります。	A	研修に積極的に参加され、研鑽を積み、業務の向上に役立てている。	意見なし			
③経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	経費節減面では、夏・冬の空調の温度管理に細心の注意を払いました。また、乳幼児・児童の利用する施設として、特に夏場は熱中症予防のために、水分補給のための水筒持参を館内掲示し、口頭でも注意喚起しました。	A	空調の温度管理や乳幼児・幼児に対する配慮など細心の注意を払い、管理運営が適切に行われている。	意見なし			
④施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	職員提案を検討し、新たに、世代間交流事業として、2階遊戯室で、川西市吹奏楽団による幼児から高齢者まで参加できる「春のミニコンサート」を企画開催し、地域の結びつきを深めました。また、久代デイサービスとの共催でデュオのコンサートも前年同様実施しました。	A	職員自らの発案で幼児から高齢者まで楽しめる音楽による事業を開催し、地域の絆づくりに役立てることが出来た。	意見なし			
< 課題 >		円滑な事業運営の為、同一事務所内の久代老人福祉センター職員との業務調整や連携が必要であると考えています。		限られた人員の中で適切な管理運営を維持していく必要がある。	意見なし			
< 改善内容 >		平成29年度は、児童センター・老人福祉センターの相互協力のもと大きな事故はなく、公の施設に相応しい管理運営を行うことができました。		一体的な施設の管理運営を引き続きお願いする。	意見なし			
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など			
①法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	初回利用時、川西市に住所を有しているかを確認の上、登録していただきます。閉館時間に関しては、放送を通じて周知徹底しています。また、法令に従った適切な事業運営を行うため、平成30年 8月16日に社協本部による内部監査が実施されました。	A	法令に則り、適正な管理運営を行い、そのチェック体制が出来ている。	意見なし			
②施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報、施設の施設できる金庫やロッカーに保管し、外部への持ち出しを一切禁止する事を職員に徹底しています。利用者には、写真撮影の際は、広報紙への掲載等については、事前に了解を得ています。	A	利用者の個人情報に配慮し、適切に取り扱われている。	意見なし			
③日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	乳幼児は、保護者に目を離さないよう依頼し、児童は、職員が乱暴な行動やケンカなど起こさないよう見守りや声掛けをしています。地域防犯ボランティアさんが、定期的に見回りに来てくださいます。また、小学校の先生が来所されるなど、情報の共有や連携をしています。	A	事故防止にむけて安全対策に取り組みされている。	意見なし			
④防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	終業後、夜間、休日の警備はアルソックと契約しています。火災の避難、誘導、通報、消火訓練は、消防署職員立会いのもと、必要な指導を適時受けました。県警のホットライン通報テストを年1回実施しています。	A	年間を通じて、安全対策に取り組みされており、危機管理体制は整っている。	意見なし			
⑤事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故発生時(ケガの場合、体調不良の場合)、非常災害時対応のマニュアルどおりの対応をしています。また、ヒヤリハットのノートも作成し全員で共有しています。設備に関しては、毎月1回職員が点検しています。	A	毎月の設備点検、ヒヤリハットの共有など職員が一体となり、施設の運営が適切に行われている。	意見なし			
⑥利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。	A	児童のおもちゃの貸し出し(ゲームなど約87種類)、卓球台(3台)、ビリヤード台(1台)の使用は、時間を設定し、時間が過ぎると次の児童と交代することとし、平等に利用できるよう配慮しています。	A	利用者が平等に施設利用できるよう、施設運営者はルールを決め配慮している。	意見なし			
⑦利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。								
< 課題 >		条例や規則等に基づき、事業運営することを全職員が意識して継続的に取り組む必要があります。		継続的な取組みが出来ている	意見なし			
< 改善内容 >		防犯対策として、予防の為、防犯カメラを設置した。		防犯意識の高さは評価できる	意見なし			

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども・若者ステーション	
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価ランク	A			A		
・評価できる内容	平成29年度は、乳幼児の事業として、幼児クラブが14事業、母親クラブが2事業、図書室とプレイルームの開放を実施しました。 また、小学生の事業として15事業、中学生は4事業を実施しました。遊戯室・運動指導室の開放、おもちゃの貸し出しなど多様な事業を展開しました。大きな事故、トラブルはありませんでした。地域の幼稚園、小学校、中学校との連携や関係機関との連携を図ることで子育てに必要な情報共有もできました。			利用者の増加を目標として対象者年齢を絞り、事業を展開した結果、幼児の利用者増につながった。 老人福祉センターとも連携し、多世代を交流のための行事を開催したが、利用者の増加につながり、好評を博した。		意見なし
・平成29年度に改善した内容	「マタニティ&産後ママ交流会」については、「ベビー&マタニティママ交流会」と名称を変えて、参加しやすい午前中の時間帯に変更しました。また、子育て支援グループへの支援の試みとして平成29年11月NPO法人育ちあいサポートブークによる『のびのびあそぼう広場』に場所提供をしました。防犯対策として、防犯カメラを設置しました。			利用者の目線に立ち、時間帯を変更できたことは日頃から利用者の声を聞いていることの表れである。また、兄弟が参加できる機会も確保できた。 子育て支援グループの支援活動など運営の幅を広げたことは評価できる。 危機管理の強化のため防犯カメラを設置したことは、安心・安全な場所として評価できる。		小学生を対象にしたクラブ等を増やしてほしい。こどもが興味を持ちそうなダンスクラブ等があればいいと思う。
・平成29年度に改善したことによる効果	第1・2・3週の同じ曜日、同じ時間帯で実施している「赤ちゃん交流会」に参加対象にならない方が、参加できる機会を作れました。 また、参加者の生活リズムに合わせた時間帯に変更できたので、参加者増となりました。			利用者への声を聞くことで、参加の機会を得て、利用者増につながったことは評価できる。		意見なし
・問題があり次年度以降改善が必要な点	育児サークル等の地域で活動されている母親クラブへの支援に取り組んでいくことが必要となっており、子育て支援グループへの支援を試みではなく、継続的に行う必要があります。			地域での継続的な支援のため、ぜひ今後も問題意識を持ち、問組んで欲しい。		意見なし
・改善方法とその時期	平成30年度は、久代児童センターでの子育て支援を目的とするグループへの支援ということで、部屋貸しを試験的に実施していきます。まず、子育て支援の一環としてグループに部屋を利用できることを対象者に周知していく必要があります。			久代児童センターとして、子育てグループの支援に積極的に取り組み、地域に根ざした事業を実施する方向でお願いしたい。		意見なし

【記入上の留意点】

(1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。

(2) 水色の表観覧にはドロッダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。